

《専門教育科目 幼稚園教諭免許状関連科目 教育の基礎的理解》

|                            |  |                |      |          |       |
|----------------------------|--|----------------|------|----------|-------|
| 科目名                        | 特別支援教育（障害児保育 B を含む）  |                |      |          |       |
| 担当者氏名                      | 川野 敬子、卜田 真一郎、岡崎 裕子   |                |      |          |       |
| 授業方法                       | 演習   | 単位<br>卒業の必修・選択 | 1・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・前期 |
| 科目 / 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等 | (幼) - 教育の基礎的理解に関する科目<br>(幼) - 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解<br>(保) - 保育の内容・方法に関する科目 |                |      |          |       |

《授業の概要》

共生社会の実現に向けた特別支援教育の充実発展が求められている。保育所・幼稚園等でも、一人ひとりの発達や保育・教育的ニーズに応じた、共に育ちあふ保育・教育が求められている。『特別支援教育（障害児保育Bを含む）』では、『障害児保育A』の学びをふまえ、保育・教育現場の事例検討、視聴覚教材、グループ討議等を通して、様々な障害、母国語や貧困等の問題により特別な教育的ニーズのある幼児、児童・生徒に対する理解と支援の方法・教育課程等をより実践的に学ぶことができるよう解説する。また、個別の計画の作成、家庭や関係機関との連携・協働、ともに育ちあふ・学びあふ集団づくり、特別支援教育の現状と課題等についても概説する。

《授業の到達目標》

1.インクルーシブ保育・教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みについて理解する。2.特別な支援を必要とする幼児、児童・生徒の特性、心身の発達、学習の過程、学習上・生活上の困難について理解する。3.特別な支援を必要とする幼児、児童・生徒の保育・教育課程や支援の方法を修得する。4.母国語や貧困の問題等により特別な教育的ニーズのある幼児、児童・生徒の困難や組織的な対応の必要性を理解する。5.保育・教育における計画の作成や支援の具体的な方法について理解する。6.特別な支援を必要とする家庭への支援や関係機関との連携・協働、特別支援コーディネーターの役割について理解し、一人ひとりが健やかに育つ社会の実現に向けて行動できる。

《成績評価の方法》

課題（ワークシート等）80%  
平常点（受講態度、グループワークへの参加度、事前学習等）20%

《参考図書》

『特別支援教育・共生社会の実現に向けて』 吉田武男監修（ミネルヴァ書房）2018年その他適宜レジュメや資料等を配布する。参考書は授業でも紹介する。

《教科書》

『コンパス 障害児の保育・教育』 武藤久恵・小川英彦編著（建帛社）2019年

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：B02  
担当形態：オムニバス  
幼稚園教諭：必修  
保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

川野：中学校にて特別支援教育担当教員としての実務経験をもとに授業を行う。卜田：保育現場において外国にルーツのある子どもを担当した実務経験に基づいて授業を行う。

《授業計画》

| 週  | テーマ                     | 学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】  |
|----|-------------------------|---|
| 1  | 障害児保育・特別支援教育の理念         | 共生社会に向けた特別支援教育、障害の概念等について理解する。/障害児保育Aでの学びをふりかえる。【30分】   |
| 2  | インクルーシブ保育・教育の制度やしぐみ     | インクルーシブ保育・教育システムを含めた特別支援教育に関する制度やしぐみを理解する。/インクルーシブ保育・教育、合理的配慮について説明することができるようにする。【30分】            |
| 3  | 特別支援の必要な幼児、児童・生徒の理解(1)  | 発達障害や軽度知的障害のある幼児、児童・生徒の障害の特性と心身の発達等について理解する。/発達障害や軽度知的障害の特性と心身の発達について学びを深める。【30分】                 |
| 4  | 特別支援の必要な幼児、児童・生徒の教育課程   | 発達障害や軽度知的障害のある幼児、児童・生徒に対する教育課程や支援の方法を事例より学ぶ。/事例をふりかえり、障害の理解と支援の方法について学びを深める。【30分】                 |
| 5  | 障害児保育・特別支援教育の実際(1)      | 障害のある、障害のない幼児、児童・生徒がともに学ぶ交流・共同学習について学ぶ。/障害との出会い、保育・教育等と出会う場について整理しておく。【30分】                       |
| 6  | 障害児保育・特別支援教育の実際(2)      | 幼児、児童・生徒の願い、内面の育ちを見つめた個別の指導計画、個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。/観察・記録より、個別の指導計画を作成し、評価を検討する。【30分】         |
| 7  | 特別支援の必要な幼児、児童・生徒の理解(2)  | 視覚障害児、聴覚障害等のある幼児、児童・生徒の障害の特性と心身の発達等について理解し、支援の方法を学ぶ。/事例をふりかえり、障害の理解と支援の方法について学びを深める。【30分】         |
| 8  | 特別支援の必要な幼児、児童・生徒の理解(3)  | 知的障害のある幼児、児童・生徒の障害の特性と心身の発達について理解する。/知的障害の特性と心身の発達について学びを深める。【30分】                                |
| 9  | 特別支援の必要な幼児、児童・生徒の教育課程   | 知的障害のある幼児、児童・生徒の教育課程と支援の方法を学び、事例検討を行う。/事例をふりかえり、障害の理解と支援の方法について学びを深める。【30分】                       |
| 10 | 特別支援の必要な幼児、児童・生徒の理解(4)  | 肢体不自由、医療的ケア、病弱等のある幼児、児童・生徒の障害の特性と心身の発達等について理解し、支援の方法を学ぶ。/事例をふりかえり、障害の理解と支援の方法について学びを深める。【30分】     |
| 11 | 障害児保育・特別支援教育の実際(3)      | 「通級による指導」「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を理解する。/前半の授業のふりかえりを行う。家族の思い・願いに耳を傾ける。【40分】                           |
| 12 | 特別支援の必要な幼児、児童・生徒の理解(5)  | 特別な教育的ニーズのある幼児、児童・生徒の学習上、生活上の困難とその対応を理解する。理解度を確認する。/母国語や貧困の問題等特別な教育的ニーズのある幼児、児童・生徒について学びを深める【60分】 |
| 13 | 家庭や関係機関との連携・協働          | 家庭や関係機関との連携・協働、特別支援教育コーディネーターの必要性について学ぶ。/家族支援における保育者・教諭、特別支援コーディネーターの役割について考えておく。【30分】            |
| 14 | 特別支援の必要な幼児、児童・生徒の理解(6)  | 【課題研究】虐待と障害についての事例を読み理解を深める。/虐待と障害、支援の方法について学びを深める。【90分】  |
| 15 | 障害児保育・特別支援教育の実際(4) 保育者・ | 【課題研究】子ども達が輝くことのできる保育・教育を考え、人間の成長と専門的資質の向上を目指す。/障害児保育・特別支援教育の現状について整理し、課題を見出し、未来を展望する。【90分】       |